【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【公開番号】特開2006-302215(P2006-302215A)
【公開日】平成18年11月2日(2006.11.2)
【年通号数】公開・登録公報2006-043
【出願番号】特願2005-127002(P2005-127002)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　15/00　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　13/00　(2006.01)
Ｇ０７Ｇ　 1/12　(2006.01)
Ｇ０７Ｇ　 1/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　15/00　３１０Ｔ
Ｇ０６Ｆ　15/00　３１０Ｍ
Ｇ０６Ｆ　13/00　５２０Ａ
Ｇ０７Ｇ　 1/12　３４１Ａ
Ｇ０７Ｇ　 1/14

【手続補正書】
【提出日】平成21年11月30日(2009.11.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
サーバ装置との間でＦＴＰプロトコルを用いてデータの送受信を行う売上データ処理装置であって、
売上データを格納する格納手段と、
前記サーバ装置からＦＴＰプロトコルを用いて送信されてきた集計コマンドを受信した際に、当該売上データ処理装置に接続されている他の売上データ処理装置に売上データ収集コマンドを送信する第１の送信手段と、
売上データ収集コマンドに応答して他の売上データ処理装置より送信されてきた売上データを正常に受信した場合はこの売上データを集計して前記格納手段へ記憶する第１の制御手段と、
他の売上データ処理装置より売上データを正常に受信できなかった場合は、その売上データ処理装置の識別情報と共にエラーコードを前記格納手段へ記憶する第２の制御手段と、
前記サーバ装置からＦＴＰプロトコルを用いて送信されてきた結果受信コマンドを受信した際に、前記格納手段内の集計された売上データ若しくはエラーコードを前記サーバ装置へ送信する第２の送信手段と、
を備えたことを特徴とする売上データ処理装置。
【請求項２】
前記第１の送信手段は、前記サーバ装置からＦＴＰプロトコルを用いて送信されてきた集計コマンドを受信した際に、当該売上データ処理装置が集計するタイミングでなければ、他の売上データ処理装置に売上データ収集コマンドを送信せず、この際には、前記第１の制御手段は、エラーコードを前記格納手段へ記憶することを特徴とする請求項１に記載

の売上データ処理装置。
【請求項３】
サーバ装置との間でＦＴＰプロトコルを用いてデータの送受信を行う売上データ処理装置のコンピュータを、
売上データを格納する格納手段、
前記サーバ装置からＦＴＰプロトコルを用いて送信されてきた集計コマンドを受信した際に、当該売上データ処理装置に接続されている他の売上データ処理装置に売上データ収集コマンドを送信する第１の送信手段、
売上データ収集コマンドに応答して他の売上データ処理装置より送信されてきた売上データを正常に受信した場合はこの売上データを集計して前記格納手段へ記憶する第１の制御手段、
他の売上データ処理装置より売上データを正常に受信できなかった場合は、その売上データ処理装置の識別情報と共にエラーコードを前記格納手段へ記憶する第２の制御手段、
前記サーバ装置からＦＴＰプロトコルを用いて送信されてきた結果受信コマンドを受信した際に、前記格納手段内の集計された売上データ若しくはエラーコードを前記サーバ装置へ送信する第２の送信手段、
として機能させるためのプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】売上データ処理装置及びプログラム
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、ＦＴＰ（File Transfer Protocol）プロトコルを用いてサーバとファイルデータの送受信を行う売上データ処理装置及びプログラムに関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明の課題は、汎用的なプロトコルを用いて売上データ処理装置の集計処理等の処理を指定できるようにすることである。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明は、サーバ装置との間でＦＴＰプロトコルを用いてデータの送受信を行う売上データ処理装置であって、
売上データを格納する格納手段と、
前記サーバ装置からＦＴＰプロトコルを用いて送信されてきた集計コマンドを受信した際に、当該売上データ処理装置に接続されている他の売上データ処理装置に売上データ収

集コマンドを送信する第１の送信手段と、
売上データ収集コマンドに応答して他の売上データ処理装置より送信されてきた売上データを正常に受信した場合はこの売上データを集計して前記格納手段へ記憶する第１の制御手段と、
他の売上データ処理装置より売上データを正常に受信できなかった場合は、その売上データ処理装置の識別情報と共にエラーコードを前記格納手段へ記憶する第２の制御手段と、
前記サーバ装置からＦＴＰプロトコルを用いて送信されてきた結果受信コマンドを受信した際に、前記格納手段内の集計された売上データ若しくはエラーコードを前記サーバ装置へ送信する第２の送信手段と、
を備えたことを特徴としている。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明によれば、サーバ装置からＦＴＰプロトコルを用いて送信されてきた集計コマンド及び結果受信コマンドに応答して、売上データの集計し、その集計結果を送信することが可能になり、更に、売上データ処理装置の集計の状態も取得することができる。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】